

# かがやく

## 特集 学びのコミュニケーション



だれでも楽しめる!

児童センター組み木教室

指導 遠藤一幸さん(70歳)



●生涯学習とは、生きがいのある充実した生活を送るために、生涯にわたって自由に楽しく学ぶことです。



遠藤一幸さん作

約30分で、飾っても、触れても、遊んでも楽しめる組み木の完成です。



児童センターで組み木教室が始まって十六年。遠藤さんはその間ずっと指導しています。

「木によって違う色や木目にひかれて、その組み合わせで絵を描こう」と思ったのがきっかけ。その後「組み木」と出合い二十年。一枚の板を図案化して切り、パズルのように組み合わせる楽しむことができる組み木は「失敗もたくさんありますが、完成した時の充実感がいい」

電動糸ノコを扱うのは、危険なだけに緊張します。指先

だけでなく全身で集中しなければならぬ作業ですから、工作室の参加者の間には、自然に運命共同体のようなコミュニケーションが生まれます。

そんな様子を見ながら遠藤さんは、優しくアドバイス。そして仕上げの磨き作業で完成センターで担当の新しい季節毎に楽しめる図案を遠藤さんが考えてくださるので、年間続けると楽しいコレクションになりますよ」とオススメ。

小学生から大人まで誰でも参加できる組み木教室です。

■ 毎月第4土曜日

参加費150円

対象・小学生～大人

〈問い合わせ〉児童センター

TEL 963-9611

# 特集



## 2004年 第59回国民体育大会 なぎなたに期待高まる!! 塩山さおりさん



福岡県の高校時代に、なぎなたを始めた塩山さおりさんは市体育課に勤めながら、小中高生や一般の方に指導しています。現役五段、さらに上をめざしています。「かつて、国



道場で指導中の塩山さん



彩の国まごころ国体のマスコット「コバトン」です。なぎなたのコバトンをよろしく!

体で狭山ヶ丘高校に負けたことがありました。奇しくも今その狭山ヶ丘高校で指導しています。なぎなたを通して、世界中の人々と交流が出来るのが嬉しいです」と語る。平成十六年、国体のなぎなた会場は、入間市に決定。塩山さんをはじめ地元の人たちの活躍が楽しみです。

## 西武中学校煎茶道クラブ お茶の産地でこそ

「煎茶道」指導佐藤静紫庵さん

松風流師範の佐藤静紫庵さんは、平成八年九月発足した西武中学校「煎茶道クラブ」の指導をしています。毎年の卒業茶会で三年生の部員が校長先生や卒業生に御点前とお運びを行うのが恒例となっています。

佐藤さんは「煎茶道は、おいしくお茶を入れることが基本です。奥深い作法を学び心配りや所作が身についていくので、成人になってからでも、このもてなしの気持ちを忘れないでほしい」と生徒たちに思いを託しています。



校内の茶室でお稽古

## 躍動！ 上藤沢中学校 有志ソーラン部

十二月の雨の中、裸足で踊る姿に拍手が送られました。「生徒たちが自発的に、裸足で踊ることを決めました」と先生も感動。約百人の有志で組織されたソーラン部の活動は、校内の離任式や体育祭、佐渡の前浜中学校との交流会、地域の「東藤沢ふるさと祭り」など。学校だけでなく地域のコミュニティに貢献しています。「ソーランを極めます！」と中学生の心意気が伝わりました。



氷雨の中、引退した三年生の思い出をつないで踊る五十四人の熱い演技（生涯学習フェスティバル屋外会場）

「やればなんでも

出来た！」

県立入間青年の家

入間の里

はつらつ体験塾

県立「入間青年の家」で、「入間の里はつらつ体験塾」が、昨年の十一月六泊七日で開催されました。子どもたちが親元から離れて、通学しながら自立心を養つのが目的です。

大学生ボランティアの指導のもと集団生活のルール（時間厳守、礼儀、挨拶等）を守って行動しました。協調性、連帯感が芽生え、身の回り、買物、野外炊事、掃除、入浴等に自主的な行動がとれるようになり、合宿生活の大きな成果がみられました。

生活時間（例）

6:00	起床 朝のつどい 部屋の整理整頓 朝食・後片づけ
8:20	青年の家からバスで登校 (各学校で授業)
15:30	各学校からバスで下校 部屋の清掃
17:30	夕食・後片づけ
18:30	全体活動 グループ活動
19:30	入浴・学習
21:30	就寝・消灯

保護者からは「イキイキした顔でひと回り大きくなって帰ってきた」「ありがとこの言葉が自然に出るようになった」等々、異口同音に喜びの声。

主催者側の社会教育主事・渡邊直基さんは「入間青年の家は、四月一日で入間市に移管されますが、今後地域に根ざした通学合宿を続けて欲しいですね」と子どもたちへの熱い思いを語っていました。



火吹き竹でフーフー！ 薪の火おこし



## 子どもの夢を乗せて… ミニSLの兵藤秋夫さん



「入間っ子を乗せて走り続けて…」と語る兵藤さん

パパはカメラでパチパチママは子どもと一緒に無邪気に おばあちゃんも孫と乗ります。十一年余り、児童センターを中心に、多くの人を楽しませてくれたミニSL。その持ち主で「SLのおじさん」と親しまれた兵藤秋夫さんが昨年引退し、市にミニSLを寄贈されました。

兵藤さんは元国鉄職員でSL（蒸気機関車）の運転士をしていました。退職後もSLへの思いは熱く、平成三年にアルコールを燃料として走る1/30の模型のSLを購入。児童センターで運転会をしました。しかし、スピードの調整が難しく、レールをグルグル回り続け兵藤さんはそれを追って走り回るようになってしまいました。

これではいかんと感じ、石炭を焚いて走る1/8の大きさのミニSLを購入したので。元気な子どもたちのために…地域や家族の笑顔のために…。兵藤さんの心は、児童センターでボランティア活動をしている岡野さんや市川さん、石井さんに引き継がれています。ミニSLは、毎月第三日曜日午後一時～二時半、児童センターで運転中（無料）

# 第8回いるま生涯学習フェスティバル～見てある記

## オープニングを飾った学んでかがやく大先輩!

昨年12月の生涯学習フェスティバルで、紹介された6人の皆さんです。木下市長と石田教育長のインタビューで盛り上がりました。



石川経造さん 81歳



武田四郎さん 80歳



的場リヨさん 89歳



兵藤秋夫さん 86歳



増田昌己さん 95歳



佐藤大助さん 81歳

大樹の走り根のように地域に脈々と根ざした大先輩

●武田四郎さん

週2回若い人たちとテニスを楽しむ。都内の生涯学習団体「大正会」の役員を務めた。

●石川経造さん

老人会「はなみずき会」会長 毎月パソコンで、会報を発行。多くの活動で地域に貢献している。

●兵藤秋夫さん

元国鉄運転士。十一年余りミニバスで子どもたちを楽しませ、昨年バトンタッチ。

●的場リヨさん

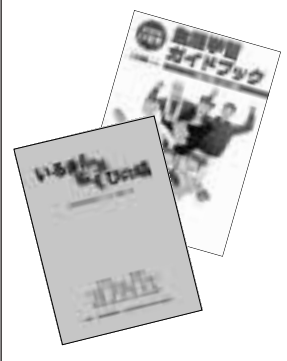
入間市初の女性議員。市社会福祉協議会の副会長を務める。特に女性の自立には大変ご尽力された。

●佐藤大助さん

現在、剣道六段。自宅道場で剣士の指導にあたり、絵画・民話・紙芝居等、多岐にわたる活動家。

●増田昌己さん

立川流鬼瓦を再現。今も運転するオートバイ「ハーレー」のサイドカーに市長を乗せて走るのが夢。



### あなたの「学び」のお手伝い 生涯学習情報を紹介しています!!

いるま生涯学習ガイドブック  
市主催の講座、イベント、大学の公開講座等  
いるま学びの場  
公民館活動サークルや市内の民間教室等

市役所(市政情報コーナー)や公民館などでご覧いただけます。問い合わせは生涯学習課まで ※市の公式ホームページでも紹介しています。アドレス [www.city.iruma.saitama.jp](http://www.city.iruma.saitama.jp)



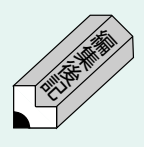
「茶の都出前講座」  
市職員がご希望の日時、場所に各種講座をお届けします。

— 問い合わせ・連絡先 —  
企画編集：「かがやく」編集委員会  
発行：入間市教育委員会生涯学習課  
〒358-8511  
入間市豊岡1-16-1  
TEL 042-964-1111 (内4123)  
FAX 042-964-4841



●前号の訂正とお詫び  
15号の一面、藤沢公民館の「カリグラフィ」は、ペアーレ入間の「カリグラフィ」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

「あら、さちのちゃん?」「あつのおばちゃんだ!」昔はお互いの名前がすぐにはわかったものでした。今、人とかかわり方がむずかしくなってきました。好きなこと、やりたいことを通して、学びあいのつながりを地域で広げていけたらとつくづく思います。(永石)



「あら、さちのちゃん?」「あつのおばちゃんだ!」昔はお互いの名前がすぐにはわかったものでした。今、人とかかわり方がむずかしくなってきました。好きなこと、やりたいことを通して、学びあいのつながりを地域で広げていけたらとつくづく思います。(永石)